

111 新型爆弾投下肉係

REEL No. A-1076

0415

アジア歴史資料センター

A 700.9 (昭和二十年)

外務省

九八三〇 略

昭和二十年八月九日午後十一時五五分

條二

在瑞西 加瀬公使

東郷外務大臣

第三九九號 大至急

(米機ノ新運爆弾ニ依ル攻撃ニ對スル抗議ノ件)

大日米國飛行機救機廣島市ニ來襲新運爆弾ヲ投下セル爲市民多数ニ死傷者ヲ出シ家屋モ亦大半倒壊又ハ焼失セリ詳細目下調査中ナルモ其ノ被害ノ甚大ナルハ到底從來ノ爆弾ニ比較シ得サルモノナリ依テ帝國政府ハ別電第三四〇號ノ如キ抗議ヲ米國政府ニ提出致度ニ付責任國政府ニ對シ右抗議大至急伝達方取計相成度尙亦十字團員委員會ニモ右趣旨御説明アリタシ  
本電別電ト共ニ在瑞西公使ニ轉電アリタシ

九八三三  
九八三一

略

昭和二十年八月十日午前一時

條二

在瑞西 加瀬公使

東郷外務大臣

第三四〇號 大至急、別電

(米機ノ新運爆弾ニ依ル攻撃ニ對スル抗議文)

本月大日米國航空機ハ廣島市ノ市街地區ニ對シ新運爆弾ヲ投下シ瞬時ニシテ多数ノ市民ヲ殺傷シ同市ノ大半ヲ破壊セシメタリ廣島市ハ何等特殊ノ軍事的前備乃至施設ヲ施シ居ラサル普通ノ一地方都市ニシテ同市全體トシテ一ノ軍事目標タルノ性質ヲ有スルモノニ非ス

本件爆撃ニ關スル聲明ニ於テ米國大統領「トルーマン」ハ我等ハ船渠、工場及交通施設ヲ破壊スヘシト言ヒ居ルモ本件爆撃ハ落下傘ヲ附シテ投下セラレ空中ニ於テ炸裂シ極メテ廣キ範圍ニ破壊的効力ヲ及スモノナルヲ以テ之ニ依ル攻撃ノ効果ヲ右ノ如キ特定目

(昭和二十年八月十日)

外務省

○東京文部省

⑧

又實際ノ被害状況ニ徴スルモ被害地城ハ限範圍ニ亘リ有地城内ニ在ルモノハ交戦者、非交戦者ノ別ナク又男女老幼ヲ問ハス無テ傷風及ヒ輻射熱ニ依リ無差別ニ殺傷セラレ其ノ被害範圍ノ一般的ニシテ且甚大ナルノミナラス個々ノ被害状況ヨリ見ルモ未タ見サル強奪ナルモノト言フヘキナリ

抑々交戦者ハ善敵手段ノ選択ニ付無制限ノ權利ヲ有スルモノニ非サルコト及不必要ノ苦痛ヲ與フヘキ兵器、投射物其ノ他ノ物質ヲ使用スヘカラサルコトハ戰時國際法ノ根本原則ニシテ夫々陸戰ノ法規慣例ニ關スル條約附屬會議戰ノ法規慣例ニ關スル規則第二十條及第二十三條條約ニ明定セラルル所ナリ

米國政府ハ今次世界ノ戰亂勃發以來再三ニ亘リ海瓦斯乃至其ノ他ノ非人道的戰爭方法ノ使用ハ文明社會ノ輿論ニ依リ不法トセラレ居レリトシ對手國側ニ於テ先ツ之ヲ使用セサル限り之ヲ使用スルコトナカルヘキ旨聲明シタルカ米國カ今回使用シタル本件爆弾ハ

### 國際法規を無視せる 慘虐の新型爆彈

#### 帝國、米政府へ抗議提出

【東京十一日電】日本政府は、八月十日、米政府に抗議書を送り、その中に「新型爆彈の使用は、國際法規を無視するもの」として、米政府に抗議を提出した。抗議書には、「新型爆彈は、無差別に民間人を殺害し、破壊を及ぼすもので、文明國として許されるべきでない」と述べられている。

（以下は新聞記事の本文の複製）

昭和二〇  
一〇一五五  
一〇一五八

ベルン  
本 省  
八月九日一六〇五  
十一月四〇〇〇

東郷外務大臣

加瀬公使

瑞西情報島二七三號

（原子爆彈ニ關スル論調）

（八日）

原子爆彈ニ關スル各紙論調

原子爆彈ニ關シテハ米國當局公報ノ宣傳的効果モアリ英米兩國紙ノミナラス當國各紙モ例外ナク之ヲ大々的ニ取扱ヒ其ノ驚異的破壊力發明ノ由來其ノ他ノ技術的解説ヲ掲載シ居レリ西タシヤニ至ツテハ廣島ニ於ケル爆撃力華府ノ地設計ニ感セラレタル由トカ（七日華府AFP）將來石炭ノ石油、電氣等動力トシテノ価値ハ激減スベク是等企業ノ將來ニ關シテ今日ヨリ深甚ナル考慮ヲ加フ要アリトカ（七日倫敦「ロイテル」）程度ニ「センセーショナル」ナル記事ヲ掲載ケ

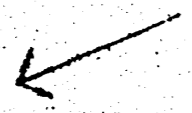
タルモノモアノ次第ナルカ石ニ既スル各戰線ノ動向ト見ラルル處  
大要左ノ通り

英

原子爆弾ノ使用ニ依リ對日戰ノ早期終了可能ニ成リタリトハ一般  
ニ認メラルル所ナルカ將來右爆弾ノ齎スヘキ恐怖ハ右戰事終結ノ  
満足感ヲ著シク削減セシメ居ル状態ナリ  
「デイリー・メール」ハ新爆弾ノ威力ハ對日戰ヲ短期ニ終了セシ  
ムルニ止ラス右ノ製造カ米英兩國ヨリ獨占セラレ居ル以上第三  
國トノ戦力ノ差餘リニモ大ニシテ將來戰爭ハ起リ得サルニ至ルハ  
シト認シタルカ一般ニハ新武器ノ應用カ如何ニ人々社會ノ破壊ヲ  
意味スルカラ認シ其ノ管理ハ將來國際平和機構ニ於テ爲スベシト  
述フルモノ多シ又「ルーター」記者「ジョンキムチ」ハ從來ノ戰  
略的安全保障ハ根本ヨリ覆ヘサレタリト言ヒ例ヘハ「スエズ」  
「ダネルス」ノ管球問題「ケーニヒスベルグ」地方ノ斷局問

米

種等ハ新シキ角度ヨリ研究スルヲ要スベク從ツテ先般ノ「ポツダ  
ム」會談ニ於ケル軍事交渉モ再協議スベキナリト認シタリ  
ニ米  
米系通信ハ主トシテ新爆弾ハ技術的説明ヲ傳ヘ居リ右ニ認スル  
點ノ動向ヲ示スモノ少シ「エキステーション」ハ新爆弾ハ富分ノ國  
ハ戦力増強ヨリモ中心地ノ效果ヲ祖ヒ使用モラルベシト言ヒ右  
報經ニト平行シテ再ヒ無條件降伏ヲ告發セラルベシト見ル向多シ  
又七書附「ニューヨーク・タイムズ」ハ「人々ハ人々ノ爲メ  
原子爆弾ニ感服セリ」ト言ヒ其意ニ於ケル所ハ日本ノ降伏否  
ハ其ノ九回答ナリト述ベタリ





三佛  
 新發明カ近キ將來ニ於テ人類文化ヲ導成ト繁榮ノ岐路ニ立タシメ  
 タル時ハ各紙一様ニ強調シ居ル處ナリ。Franco Prussiaへ近キ將來ニ  
 於テ各人ハ破壞ト平和トノ競争ヲ直面スヘシ新發明カ富メル一強  
 國ニ依リ獨占セラルル場合ニハ帝國主義的征服ノ一手段ト化スヘ  
 タ之ニ反シ法律ト協定ニ依リ調和アル國際機構ニ依リ管理セラル  
 ル場合ハ右ハ人類ノ平和的發展ニ資スル處大ナルヘシト述ヘタリ

四佛西  
 新發明ノ破壞力カ對日戰ノ終結ヲ著シク容易ニシタルニ止ラズ人  
 類ノ將來ニ新ラシキ恐怖ヲ提示セルトスルハ各紙一齊ニ述ヘ居ル  
 論點ナリ例ヘハ八日附「カゼット」ド、ロザンヌ「ハルバツノ技術  
 的性能ヨリシテ軍事目録ソメノ破壞ハ全く不可語ニナリ將來ノ戰  
 争ニ於テハ破壞ハ國土全體ヲ對象トスルニ至ルヘク或ハ國境ヲサ  
 ハ無視セラルコトアルヘシ

向一編西紙「ライプニイス」ニ「新發明ノ破壞力カ對日戰ノ終結ヲ著シク容易ニシタルニ止ラズ人類ノ將來ニ新ラシキ恐怖ヲ提示セルトスルハ各紙一齊ニ述ヘ居ル論點ナリ例ヘハ八日附「カゼット」ド、ロザンヌ「ハルバツノ技術的性能ヨリシテ軍事目録ソメノ破壞ハ全く不可語ニナリ將來ノ戰爭ニ於テハ破壞ハ國土全體ヲ對象トスルニ至ルヘク或ハ國境ヲサハ無視セラルコトアルヘシ」ト云フ

向一編西紙「ライプニイス」ニ「新發明ノ破壞力カ對日戰ノ終結ヲ著シク容易ニシタルニ止ラズ人類ノ將來ニ新ラシキ恐怖ヲ提示セルトスルハ各紙一齊ニ述ヘ居ル論點ナリ例ヘハ八日附「カゼット」ド、ロザンヌ「ハルバツノ技術的性能ヨリシテ軍事目録ソメノ破壞ハ全く不可語ニナリ將來ノ戰爭ニ於テハ破壞ハ國土全體ヲ對象トスルニ至ルヘク或ハ國境ヲサハ無視セラルコトアルヘシ」ト云フ

向一編西紙「ライプニイス」ニ「新發明ノ破壞力カ對日戰ノ終結ヲ著シク容易ニシタルニ止ラズ人類ノ將來ニ新ラシキ恐怖ヲ提示セルトスルハ各紙一齊ニ述ヘ居ル論點ナリ例ヘハ八日附「カゼット」ド、ロザンヌ「ハルバツノ技術的性能ヨリシテ軍事目録ソメノ破壞ハ全く不可語ニナリ將來ノ戰爭ニ於テハ破壞ハ國土全體ヲ對象トスルニ至ルヘク或ハ國境ヲサハ無視セラルコトアルヘシ」ト云フ

向一編西紙「ライプニイス」ニ「新發明ノ破壞力カ對日戰ノ終結ヲ著シク容易ニシタルニ止ラズ人類ノ將來ニ新ラシキ恐怖ヲ提示セルトスルハ各紙一齊ニ述ヘ居ル論點ナリ例ヘハ八日附「カゼット」ド、ロザンヌ「ハルバツノ技術的性能ヨリシテ軍事目録ソメノ破壞ハ全く不可語ニナリ將來ノ戰爭ニ於テハ破壞ハ國土全體ヲ對象トスルニ至ルヘク或ハ國境ヲサハ無視セラルコトアルヘシ」ト云フ

2583

「本報」情報部は、新爆弾ノ發明ヲ以テ、無差別破壊手段  
 使用ニ便シ一カヲ進メタルモノナリトシ之ヲ遺憾トスル旨公表セ  
 リ「七日」ロイタル「ロイタル」  
 又七日ノ莫斯科各紙ハ右ニ論ズル「トル」ノ發明ノ一節ヲ  
 掲載セルノミナラズ詳細ナル説明論評ヲ遊ケ居ルモノノ如ク「八日」  
 莫斯科「ロイタル」(「下」)

昭和二〇

一〇四〇  
 一〇四一  
 一〇四五  
 一〇四四  
 一〇四二

(暗)

ベルン 八月八日 三三〇號  
 本省 十日 二〇一五着 弘

東郷外務大臣

第八六〇號(至急)

「アトム」爆弾宣傳ニ關スル件

瑞西情報第二七三號「船」

「アトム」爆弾ニ關シナ大々的ニ「プレス」カンペーンヲ組織シ米  
 國ノ今日迄ノ非人道的殘忍行為ヲ暴露攻撃スルコト當面緊急ノ必要  
 ナリト思惟ス英米ハ今日迄日本ノ殘忍行為ノモヲ誇大ニ囑ヘ此ノ點  
 恰モ「ナチス」ト同様ナルカ如ク世界ヲシテ信セシメ居レルカ故ニ  
 今向ノ事實ニ基キ當ニ第三國ノミナラス敵國ノ人心ニ訴フルコトハ  
 今後ノ爲有利ナル情勢ヲ作ル一要素トナリ得ヘシ

加瀬公使

359

Doc 2483

2

而シテ右爆弾ハ目下歐洲ニ於テモ異常ノ「センセーション」ヲ捲起シ居ルノミナラス一般歐洲人ハ勿論敵陣自身一種ノ恐怖ト目己疑感ニ陥リツツアリ一貴領往電參照一特ニ英米人ハ蘇聯カ既ニ同様ノモノヲ所有シ居ルニ非スヤトノ疑念ヲ首先ニ抱キタルモノノ如ク英領ニ於テハ「アトリー」ノ宣言ハ「チャーチル」ノ作成シ置キタルモノヲ其ノ證據表セルニ過キスト報レ政府自身サハ本件ニ關スル責任ノ重大ナルヲ自覺シ今ヨリ責任ヲ輕減シ置カントシ居ルヤニ觀察セラル茲ニ今向ノ事實ヲ通シテ米國ノ非人道的殘忍ヲ暴露スルコトハ世界ノ同感ヲ呼フニ絶好ノ機會ニシテ蘇聯モ亦内心ハ之ヲ支持スルノ態度ニ出スル可能性アリ

特ニ目下敵陣ハ世界ノ非難ヲ豫見シ此ノ爆弾ノ明白ナル非人道性ヲ駁ハントシテ米ハ英ト共同聲明ヲナシ新發見ノ科學的工業的側面ノミヲ強調シ世ノ視線ヲ其ノ方面ニ逸シ之カ合理化ノ爲盛ナル宣傳ヲ開始シ居ルカ故ニ石ハ一層重要ナリ我方ニ於テハ政府聲明ノ形式ヲ

3

以テ對米抗議技ニ世界ノ輿論ニ訴フルノ意味ヲ覺テ去々ト之ヲ行ハレ廣同時ニ各新聞ヲシテ之ノ趣旨ヲ盡カシメ即期「ラヂオ」並ニ同聲電トシテ出來待ル限リ工夫ヲ凝ラシ數回ニ亘リ海外ニ出サシメテレ度シ其ノ際廣島ノ慘情ヲ盡キ添フルコトハ中立國新聞ヲシテ取上ケレムル爲ニ難非共必要ノ條件ナリ尙本問題ノ對内宣傳ト對外宣傳トハ判然ト區別セラルルハ多ク是ヲ以テ對内ニハ徒ニ國民ノ興奮ヲ受ク今後ノ支障トナルカ如キ事願テ相察セヨシサレ僅對外宣傳トハ寧ロ反對ノ方針ヲ執ケルルコト然ル可レ雖ハ多少ノ間ヲ置キテ必ス禁地ノ「アトリー」爆弾ヲ投スルニ相違ナク當該日見タル所ニ依レハ本件對外宣傳中ニ左ノ諸點ヲ注意スルルコト重要ト存ス



先ツ「アトム」爆弾ヲ投下サレタル廣島ノ惨狀ヲ大イニ驚立テル  
コト

米國ハ今日迄相手方ノ要求遂行ニ付屢々「強忍行為」ナリトシテ  
非難シ來リ居ルモ最近ニ至ル迄ノ日本爆撃ハ決して軍事海軍部  
産業施設ヲ目標セラルモノニアラスシテ日本ノ各都市ニ向ヒ無差別  
無差障ノ爆撃ヲ爲シテツアアリ凡ソ戦争トハ無關係ノ一般市民ノ殺  
殺ヲ意圖セルコト無智厚顔ニモ彼等自ラ語ルモノニシテ近代科學  
ノ名ヲ以テ其ノ組織的ナル大仕掛ノ強忍行為ヲセルニ過キサルハ  
何人モ否定シ得サルコト

今日ノ「アトム」爆撃ニ至リテハ其ノ非人道性ハ前ニ其ノ類ニ過  
シ右ヲ國際的ニ容認セラルル條約行爲ニアラサルハ勿レ無慮ニ等  
シキ米國海軍省ノ強忍性ヲ明白ニ暴露シテ前來米國ヲ含ム全世界  
ノ平和ニ對スル脅威ヲ現出セルモノニシテ全世界カ之ニ對シテ何  
等ノ發言ヲ爲ササルハ唯英米ノ勢力ニ依リテ後日ノ難ヲ免レタル

カ故ニ過キス毒瓦斯ノ使用スラ國際的ニ容認メラレ居ラス病院等ノ  
殺沈スタ非人道的トシテ容認セラレ居ラサルニ當リ而モ我々方何  
等ナル種類ノ手段ニ訴ヘサルニ當リ非難關員ト云ハス平和ナル大  
都市ニ臨カチル生活ヲ營メル無事ノ市民老人婦人小兒ニ至ル迄生  
存スルモノノ一切ヲ奪ケチ一舉ニ之ヲ殲殺セルコト

何處迄ノ收容所ノ強忍ニ當リテハ吾人之ニ與ル者之ヲ惜ムコト決シ  
テ人後ニ遺チサルモノナルカ米國モ之カ強忍性ヲ世界ニ向ツテ吹  
鳴シ居ルニ拘ラヌ今固ク非難ニ當リテハ實ニ罪ナキ三十萬ノ市民  
ノ全部ヲ殺シテ之ヲ地獄ニ投ス夫ハ「サナス」ノ強忍性極倍スル  
モノニシテ史上曾テ斯カル人道ニ背ク慘虐ノ行動ナキコト

「サナス」強忍性ヲ以テ自ラ任シ人道ヲ説ク所ノ米國民ハ此ノ  
罪ニ近代科學ノ後面ヲ被ルニ過キサル非人道非人間ノ強忍性ヲ果シ  
テ何ト見ヤ思フニ今ヤ心願レル米國ハ新発見ノ強忍性ノ效果ヲ試  
シ爲ニ廣島市民ヲ海軍根據地ナリトノ尊嚴無根ノ名ニ於テ之ヲ其

ノ愛敬盡ニ用ヒ之ヲ以テ同時ニ彼等カ病來ノ敵ニ其スル威嚇ノ具  
ニ供シタルハ明カニシテ以テ如何ニ米國希冀者カ人面ヲ被リタル  
悪謀ニ等シキカヲ證スルニ足ルコト

ハ自己ノ行フコトハ總テ人道的ニシテ相手方ノ行フコトハ總テ残忍  
ナリト宣稱シ來リタル米ノ虛偽ハ今ヤ世界ニ暴露サレテ疑ス所ナ  
キコト

伊吾人ハ此ノ嫌疑ノ使用ヲ計置シタル米國ノ首魁者コソ眞ノ意味ノ  
空等犯罪者タルコトヲ世界ニ同ツテ言フヲ憚ラサルコト

尙新聞誌説等ニハ次ノ如キ朝子ヲ附加スルモ適當ナルヘシ辭チ「日  
本ハ新ルニ結核スル残忍行爲ニ脅威サレテ屈スルモノニアラス之ニ  
シテハ日本國民ハ唯殉教者ノ死ヲ以テ世界ノ人心ト人類ノ正義ニ向  
ヒ米英國民ノ非道ヲ詆ヘテ歴史ニ銘シテ長ク世ノ批判ヲ仰カン」

右御如才ナキコト乍ラ御參考迄（了）

